

去る 11 月 22 日(木)に名桜大学生涯学習センターにおいて、2019 年度実施教員候補者選考試験対策講座の開講式を開催いたしました。最初に山里勝己名桜大学学長より激励のあいさつがありました。昨年度に引き続き 9 名の合格者を輩出したことは大きな喜びであり、本講座の実績であると評価していただきました。さらに講座を継続して行く中で、地域における教員採用延べ人数がますます増えていき、本講座が今後の人材育成において多大なる功績が期待できるというメッセージに、講師の皆さまも大いに勇気づけられました。次に、講座の趣旨説明があり、さらに講師一人一人から自己紹介と受講生への熱いメッセージが送られました。その内容からは、2 か年の教員候補者選考試験の指導を通して、1 次試験及び 2 次・3 次試験問題を収集し、その傾向を分析し、日頃から試験対策に向き合っておられる先生方の熱意が、ひしひしと伝わってきました。

後半は、本講座の今年度合格者の中から 4 名の方々に受験勉強の体験談を紹介していただきました。最後は、チャレンジ問題（今年度実施の一般教養問題）を解いて開講式及び初日の講座は終了となりました。今回の受講生は、これまでで最も多く名桜生 32 名、一般 23 名の合計 55 名が受講しています。

時間割は、月・木は教職教養（一般教養も含む）、火・金は専門教養となっています。専門教養は、小学校の算数・理科・社会・音楽、中高数学、中高保健体育、養護を実施していきます。

皆で切磋琢磨して、教員採用への合格の切符を手にするよう、できる限りの応援をしていきます。

★上原みちるさん（養護：スポーツ健康学科 4 年）名桜大学の現役合格生！

「昨年の 11 月に勉強を始め、過去問を 3 年分程解いて出題形式や内容を把握。12 月から専門教養を解き始め、教職は 4 月から本講座を受講し、5 月は教育実習のため休講、6 月からは専門教養と並行してもらった教職の資料を暗記。教職教養は、講座の時間で覚え、その日の寝る前に読み直す。講座以外では 1 時間～1 時間半くらいでプリントを復習する。その結果、本番の試験では、講座でやった問題がどんどん出てきて「講座を受けていてよかった」という気持ちになりました。…」報告の抜粋

★玉城光一郎さん（昨年度の名桜大卒）中学保健体育(271 名中 12 名合格という難関)を 3 位で突破！1 次試験から 3 次試験までの長丁場の受験競争を制しての合格。心配された面接で、マンツーマンの指導を受け 100 点満点を達成したという報告は、担当講師も感慨一入だったと思います。彼は、「勉強する喜びを知り、それを生徒に伝えられるような先生になりたい。」という抱負を語ってくれました。

★内間一生さん(小学校) 合格者 236 名 10 位の 4 回目での合格という吉報でした。この 1 年は、受験勉強最優先の生活で、その方法を丁寧に説明してくれました。講座で知り合った仲間との勉強会、問題集や自作の問題ファイルを持参し、講座修了後も受講生に熱いメッセージを送ってくれました。

★渡具知佳史(中高数学)139 名中 9 名合格 10 年目の試験でお世話になった多くの先生方にお礼の報告をできたことが大きな喜びですと語ってくれました。そして、受験仲間からも刺激をもらい、勉強していくとどんどん数学が好きになり、生徒と向き合うことが楽しくなったという報告が印象的でした。

中高数学 1 次合格者の 1, 2, 3 位が本講座の受講者で 3 名共に最終合格を果たしました。難関高校数学も昨年度に引き続き 1 名の合格者がいました。どんなに難関な教科でも努力をして合格を果たす受験者が毎年いるということが、受験生の大きな励みになることを感じさせてくれる報告会でした。



写真 1 開講式の様子(11/22)



写真 2・3 体験談を紹介して下さった 4 名の合格者と報告会の様子

